

BBIT セミナーについて

現在のところセミナーのコースはベーシック及びインターメディエイトコースとなっており、それぞれの内容は以下のとおりです。

BBIT ベーシックコース内容

BBIT ベーシックコースは8つのオンラインライブストリーミングクラス、及び2つの実技実習クラス（会場は東京近辺）、合計で10クラスのコース。

*ベーシックコースでは左右脳や脳部位間のバランスを判定するためのアセスメント法のみを学ぶ。その先の療法のアプリケーションはインターメディエイトコースで学ぶ事になる。インターメディエイトコースを履修するにはベーシック修了試験に合格する必要がある。

*クラス進行状況によりクラス内容が変更される場合があります。また感染症などの影響で実技実習クラスは日程や形式等が変更になる可能性があります。

BBIT ベーシックコース受講資格

特にベーシックコース受講資格を設けてはいないが、神経学（神経の基本的な働き、つながり、脳の部位別の基本的な働き等）、運動生理学（筋肉の名前、働き、反射等）、栄養学、免疫学（ごく基本的な免疫機能等）等の基本的な知識がない場合理解が難しい可能性があると思われる。またアセスメント法を学ぶ上では何らかの形での徒手療法経験がない場合、徒手でのアセスメントやその判断の仕方を学ぶ上で難しい可能性があるので事前に了承した上で受講申し込みをしてください。

*上記の予備知識及び経験が無い方は、一般向け「脳の発育バランスセミナー」をお勧め致します。

BBIT ベーシックコース、クラス内容詳細について

クラス 1：機能性ディスコネクションとは

内容；小児神経発達症を機能的な左右脳及び脳部位間の未接続という観点で、その科学的検証例をあげながら説明し、その接続を促し脳の機能の改善を行うことで、様々な症状や困りごとを改善することが可能である事を学ぶ。脳の接続を促すアプローチとしてのBBITとは何か、そしてどのようなアプローチをすることで脳の接続を改善することが出来るのかをまずは大筋（ビッグピクチャー）を学ぶ。

アセスメント法；発育の始まりである原始反射のアセスメント

クラス 2：右脳低下型機能性ディスコネクション1（ADHD等）

内容；小児神経発達症の原因とは何なのか、そして脳の側性化及び機能的な局在を現在わ

かっている範囲で理解し、左右脳のバランスが崩れることでどのような症状につながるのかを学ぶ。そして ADHD、強迫性障害、チック等と右脳の低下との関連の可能性を学ぶ。
アセスメント法；脳神経及び自律神経アセスメント

クラス 3：右脳低下型機能性ディスコネクション 2 (ASD)

内容；右脳低下型パート 2 として ASD と右脳の低下との関連研究そして ASD のリスクファクター等を学ぶ。また社会関与システムに関連した愛着スタイルを学ぶ。
アセスメント法；脳神経、効き目、聞き耳アセスメント及び自律神経アセスメント

クラス 4：左脳低下型機能性ディスコネクション 1

内容；左脳低下型パート 1 では左脳機能低下と LD の関係、及びその分類を学ぶ。また視床とその振動、体幹筋と視床の振動との関係を学び、脳の発育を促すためには体幹のバランスが重要であるという事を学ぶ。
アセスメント法；体幹及び固有受容体アセスメント

クラス 5：左脳低下型機能性ディスコネクション 2

内容；パート 2 では LD の中でもディスレクシア、日本語読みのメカニズムを学ぶ。また筋肉の張力（以下筋トーンと呼ぶ）と筋紡錘の働きを学ぶ。
アセスメント法；腱反射、筋肉テスト、体性感覚アセスメント

クラス 6：実技実習パート 1

内容；今までのアセスメント法を実技実習を通して習得する。
会場；東京近辺

クラス 7：小脳アセスメント

内容；小脳を機能的に脊髄小脳、前庭小脳、大脳小脳に分類しその解剖学と働きを学ぶ。小脳の働きは小児神経発達症との関係が深いという研究も数多くみられ、よってその働きのバランスをアセスメントし働きを改善させることは大きな意味を持つ事を学ぶ。
アセスメント；小脳のアセスメントを機能局在別に学ぶ

クラス 8：実技実習パート 2

内容；実習パート 1 のアセスメント法（復習）及び小脳アセスメント法の実習。
会場；東京近辺

クラス 9：大脳基底核には人間の社会行動に関わる主に 5 つのループがある事を学び、それぞれのループの機能と様々な症状との関わりを学ぶ。

内容：大脳基底核は小脳とともに人間の認知機能、社会性、感情コントロール、運動コントロールなどに関わっており、それぞれのループの働きと、よく我々が相談を受ける子供たちが持つ特性との関係を学ぶ事で、よりスペシフィックな療法の提供につなげる事ができる。

クラス10：栄養学、免疫学、そして愛着スタイル

内容；BBIT では、複合運動療法とともに生活変容にも重点を置いている。その中でも食事変容は、脳のバランスを改善させる上でとても重要であること、及びその方法を学ぶ。また、愛着スタイルが子供の社会性に関連していることを学び、愛着スタイルが不安定な場合に我々ができる事は何かを考える。